

[横浜市磯子区民文化センター杉田劇場]
 令和2年度業務計画
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業
 を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市磯子区民文化センター
所在地	横浜市磯子区杉田一丁目1番1号
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上30階建ての、南棟1階および4階から7階部分の一部を専有（区分所有）
敷地・延床面積	延床面積 2,999.72 m ²
開館日	平成17年2月5日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体
代表団体	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【総合的な方針】

これまで築いてきた区民との関係性、ネットワークを活かし、文化の力で地域の活力を向上させ
 「笑顔あふれるまち・いそご」実現に貢献する

【第4期指定管理期間中の取組】

多様な区民の社会参画の機会創出
 文化的コモンズ形成

(2) 令和2年度の業務の方針及び達成目標

社会的包摂の視点を踏まえ、幅広い方々が音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化に触れる機会を提供する

◇達成目標：「WELCOME いそご」(新規)・「にこにこ見本市」(新規)を開催する

多層的なコミュニティを文化の力でつなぎ、地域の絆をより強固なものにする

◇達成目標：「杉劇アート de 伝承プロジェクト」を継続して実施し、コミュニティのつながりを強化する

地域の様々な施設・団体・資源(教育施設、福祉施設、医療施設等)を、芸術文化を通じて結びつける

◇達成目標：「夏まつり」、「冬まつりライブ」など施設開放イベントなどへの新規参加団体を増やす

4 業務の取組と達成指標

(1) 事業計画

ア 使命1:磯子区の外国人、障がい者、様々な経済事情にある方、子どもや高齢者、性別にかかわらず幅広い属性の方などへ、社会的包摂の視点を踏まえ、音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化に触れる機会を提供することで、感性豊かで多様な価値観を受け入れるための区民文化形成に貢献する。

◇◇あらゆる人が集い、笑顔があふれる広場をつくります

[取組内容]	[達成指標]
1 磯子区内の外国人就労者との交流会「WELCOMEいそご」を始めます。(年2回)	1 外国人との交流事業「WELCOME いそご」を実施し、外国人の参加者を35人以上とします。
2 あらゆる人たちが参加し、楽しめる作品展「杉劇ニコニコ見本市」を始めます。(年1回)	2 「杉劇にこにこ見本市」～地域作業所や就労支援団体等と連携し自由な表現を楽しむ作品展～を開催、来場者100人以上を目標とし、若いアーティストや支援団体等の活動を応援します。
3 こどもたちに文化芸術の豊かさや発信する力を体験してもらい、創造する力や考える力を育みます	3 こどもたちが様々な文化芸術を体験する機会として「杉劇アート体験塾」を年3回、「横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム」については積極的な参加を学校に呼びかけていきます。
4 地域の誰もが杉田劇場に集い、交流する機会をつくります	4 文化芸術を切り口にした施設開放交流行事として、「杉田劇場夏まつり」「冬まつりライブ」を実施します。また、若手の音楽愛好者等が集う音楽の祭典「磯子音楽フェスティバル(仮称)」を立ち上げます。
5 幅広い層に幅広いジャンルの文化芸術を身近な劇場で楽しんでもらう工夫をします	5 イベント広報手段の多角化、ホームページの多言語化のはじめとして英語表記に取り組みます。 来館者アンケートを積極実施し、利用者の愛好する文化芸術分野を調査し、事業展開に反映させるよう努めていきます。

イ 使命2:芸術文化に関する様々な参加の窓口を用意し、地域住民が潜在的に持つ文化芸術活動の可能性を広げること貢献する。また、地域で文化活動を主導する人材を増やす。

◇◇すべての区民が文化の担い手一人ひとりが生きる力を育む場になります

[取組内容]	[達成指標]
1 杉劇@助っ人隊(ボランティア組織)メンバーのモチベーションを高め、活躍の場を広げます	1 杉劇@助っ人隊の活動をステップアップし、アウトリーチ活動や自主事業のヒアリング調査や事業提案など、活動の場を拡大します。す
2 杉田劇場発、「杉劇リコーダーズ」が地域の課題解決のために、アウトリーチ活動を拡大します	2 「杉劇リコーダーズ」団員の自主企画によるアウトリーチ活動を推進します。
3 地域発、演奏団体・劇団が杉田劇場で本格的な舞台づくり、舞台公演をともに創ります	3 杉田劇場で生まれた「劇団横綱チュチュ」「劇団糸」の公演をサポートします。
4 地元の歴史や文化に愛着を感じる区民を増やし、地域文化の担い手を育成します	4 「いそご文化資源発掘隊」「こども文化資源発掘隊」「杉劇☆歌劇団」を継続実施し、地域に愛着をもつ区民を増やす取り組みを進めていきます。
5 様々なバックボーンのインターン・職業体験の受け入れ	5 小・中学生の職業体験学習、大学生のインターンシップの受け入れなど、未来の担い手育成に積極的に取り組んでいきます。

ウ 使命3:地域が抱える課題に対して、様々なアプローチにより、文化芸術活動の可能性を広げること貢献する。

◇◇文化の力とは 生きる力・地域を創る力・バリアを乗り越える力 区民の文化の力を結集する広場になりたい

[取組内容]	[達成指標]
1 子育てを支援し、未就学児や親子に芸術文化に触れる機会や居場所・コミュニティの場を作ります	1 ・0歳時から楽しめる「ひよこ♪コンサート」を年3回実施します。 ・ロビーパフォーマンスを毎月1回(12回)実施します。 ・おでかけパフォーマンスを、子育てサークルなどに年2回、南部地域療養センターに年3回実施します。
2 高齢者や放課後の子ども達など、自宅でひとりになりがちな人々のための居場所づくりを行います	2 「杉劇ちよこつとカフェ」の大人版、こども版を年3回ずつ実施します。
3 地域課題への気づきの場として「杉田劇場夏まつり」	3 磯子べんきょう会などの学生などの支援団体、障害者施設などとの連携を深め、夏まつりなどのイベントで地域課題解決に取り組めます。

エ 使命4:文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、地域の様々な施設・団体・資源(文化施設以外の教育施設、福祉施設、医療施設等)を、芸術文化を通じて結びつけることで、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に貢献する。

<p>[取組内容]</p> <p>文化的コモンズを地域の教育力、絆づくり、地域包括ケア等多層的なコミュニティのベースとして位置付け暮らしの中に文化のネットワークを形成します</p>	<p>[達成指標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歌声プロジェクトを通じて小学校との結びつきを強めるとともに、学校と商店街、町をつないでいきます。小学校5校程度で実施します。 2 学校教員の文化体験や研修を実施し、学校とのつながりを強化し、学校独自の舞台づくりなどを支援するとともに、本格的な舞台として杉田劇場ホールの利用については優先利用などを考慮することとしていきます。 3 「いそご文化円卓会議」(年3回)「磯子文化ガイドマップ」(1回)など、伝承プロジェクトを推し進めていきます。 4 警察・消防と連携し、防犯・防災などの広報活動等に協力していきます。 5 磯子区内の企業等で構成されている磯子事業会や町内会などと連携しイベント等に出演していくことに加え、イベント企画の相談や出演団体やアーティストなどのコーディネートを行います。 6 駅前にある公共施設として、あらゆる人が安心して安全でいられる場所づくりをしていきます。
--	---

オ 使命5:利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を発揮して、利用者の文化活動がより良い活動となるよう支援を行い、磯子区民に親しまれる施設となる。

◇◇「今日は何をやっているのかな?」「誰がいるかな?」声を掛け合うみんなの広場になります

<p>[取組内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 利用者の立場に寄り添い、一人ひとりに合わせた対応をします 2 ユニバーサルデザインの7原則を踏まえ施設設備機能の充実を図ります 3 利用団体を応援することで杉田劇場のファンを増やし、好循環を作ります 4 利用者等の声を反映して、マネジメントを育みます 5 施設利用に関わる個人情報の保護 	<p>[達成指標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 利用者サービス拡大のため、コンビニでチケットが購入できるチケット販売システムを導入、利用規約を整備し利用拡大を図ります。 2 利用団体が横のつながりを持つために、利用団体向けのオープンフェスティバルを年1回開催します。 3 施設利用者や来場者など、皆さまの要望や満足度などをアンケート調査しサービス向上に努めます。利用者アンケートの回収率については、ホール、ギャラリー60%、リハーサル室50%、練習室30%とします。 4 貸館利用率-80%を目標とします。 5 利用者及び来場者の満足度測定-80%の方々が満足とアンケート回答を目標とします。
---	--

カ 使命6:適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。日常的に不具合箇所を確認し、小破修繕で対応できる予防的修繕にも着実に取り組む。複合施設に設置されている施設として、施設全体の維持管理において適切な役割を担う。

◇◇様々な人が訪れ 集い 憩う場所として安全・安心・快適な場であり続ける

<p>[取組内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 施設の安全確保と長寿命化の視点による修繕の実施 2 利用者に安心快適な日常における保守管理 3 保守管理業務における委託業者について 4 中期修繕計画の策定 5 事故・防犯に対する取組み 6 防災に対する取組み 7 感染症対策等衛生管理 	<p>[達成指標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中期修繕計画の策定 2 特殊詐欺防止のための警察との連携イベント開催 3 12条点検、消防法立入検査及び建築局劣化調査による指摘への対応率-100% 4 施設管理者点検及び日常点検での不具合内容への対応率-100% 5 施設の管理瑕疵に起因する事故ゼロ 6 区と実施するモニタリングにおける複合施設修繕案件や計画の情報共有率-100% 7 共用部分の修繕が迅速かつ円滑に実施されている
--	--

(2)施設運営について

ア 施設運営及び組織運営

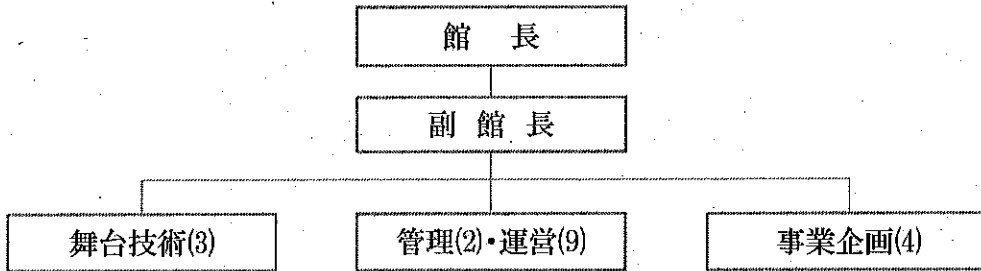
<p>[目指す成果]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 共同事業体による専門性と地域の力を融合させた運営を行います。 2 各団体が業務を分担し、適切に人材を配置し、地域での活動を踏まえた効率的な勤務体制をとります 3 施設利用や舞台に関する技術的な相談等を受けられる体制を維持します 	<p>[取組内容及び達成指標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 共同事業体の4者が一丸となって施設運営や事業にあたり人員体制を安定させ、区民主体の運営を実現します。 2 常日頃から多角的に利用者・来館者のニーズを把握し、施設運営にフィードバックします。 3 舞台管理に関しては、構成団体の有限会社アイコニクスが常駐し、舞台技術の専門家として利用者へのアドバイスや技術サービスの提供を行います。
--	--

イ 必要人材の配置及び能力担保

1. 共同事業体の構成

財団（副館長）／NPO 法人チーム杉劇（事業、施設運営、維持管理）／
 （有）アイコニクス（舞台）／（株）ニックスサービス（清掃、設備保守、管理）

2. 人員体制



役職・担当		所属
館長		財団
副館長		財団
舞台	照明	アイコニクス
舞台	音響	アイコニクス
舞台	舞台	アイコニクス
管理	経理・労務	チーム杉劇
管理（補助）	庶務等	チーム杉劇
事業企画／事業企画チーフ		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
運営（コンシェルジュ）		9名 チーム杉劇（パート）

※設備管理のニックスサービスは常駐しない。

※舞台スタッフは、ホールの日公演がない日は、運営のシフトに組み込みます。〈新規〉

※上記の他、財団事務局において以下のバックアップを実施

- ・経営企画室（JV 会議出席、経理事務補助 等）
- ・総務グループ（財団職員の給与計算及び社会保険、修繕対応 等）

【目標等】

- ・人員体制を安定させ、区民主体の運営を実現します。

(3)管理について

ア 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取組

<p>[取組内容]</p> <p>1 「利用者の安全確保が何事にも優先する」という意識をもって「安全・安心を最優先」に組織体制と計画を策定し、事故の未然防止にあたります。そして、誰もが安心・安全に施設利用ができるような管理・運営を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>事故・防犯に対する取組</p> <ol style="list-style-type: none">(1) こども、高齢者、障がい者、外国人を含むあらゆる人の利用を想定し、それぞれに対するリスクチェックを行ったうえで施設のハード面、ソフト面の課題を把握し、対策と対応を「事故防止マニュアル」として整備します。(2) 事故やヒヤリハット事例は、記録簿に残しミーティングで共有し、事故防止力の向上を図ります。(3) ホール利用者には、打合せ時に「避難誘導についての手引き」を配布し、緊急時の対応を説明します。(4) 職員は始業前点検として開館前に諸部屋を巡回し、設備の損傷確認と不審物等の確認を行います。(5) 舞台に関わる事故を防止するため、舞台スタッフによる設備点検を徹底するほか、利用者に対して利用時の注意喚起を行います。また舞台機構操作ならびに照明機材の吊込み等、危険を伴う作業については必ず舞台スタッフが行います。(6) 全職員が普通救命講習を受講し、緊急時の応急処置とAEDの取り扱いを習得します。(AED1台を常備)(7) 複合施設であり不特定多数の方が利用し、不審者の侵入も懸念されるため、職員による定期的な館内巡回を実施するほか、監視カメラによる録画と、モニターによる館内状況の監視を行い防犯に努めます。(8) 複合施設内の商業施設の防災センターとは常に連絡が取れる体制をつくり、事故を未然に防止します。(9) 緊急事態が発生した場合は、緊急連絡網により区役者を含む関係各所へ連絡し必要な対応にあたります。(10) 認知症状の見られる高齢者や様々な事情を抱える方が長時間滞在することもあるため、関係各所と連携・協力し必要な対応にあたります。 <p>防災に対する各種研修・訓練の実施</p> <ol style="list-style-type: none">1 救命救急研修 救急救命の初期対応、AEDの使用方法の習得2 災害時対応研修 交通遮断時等の対応確認/ 帰宅困難者一時受入れ時の行動確認3 防火・防災訓練 自衛消防隊の組織確認/ 消火訓練/ 消防設備等の位置確認/ 消防計画及び災害時行動計画の確認4 避難訓練 開館中の災害発生を想定した訓練を管理組合との連携により実施します。
--	--

5 収支について

(1) 利用料金設定及び割引、減免の考え方

<p>[取組内容]</p> <p>(1) 現在の利用区分、料金が定着し、利用者にも認知していただいているため、基本的に現行の料金設定を維持します。</p> <p>(2) 利用率の向上と新規利用者の開拓、及び次世代育成を目的とし既存の割引制度に加え、新たな減免制度・割引制度、優遇措置(特別料金設定)を実施します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(1) 指定管理者が主催または共催する事業 主催事業については全額減免、共催事業については条件等により、10%~50%の減免を適用</p> <p>(2) 学校の日事業(新規) 磯子区内の学校等の利用(新規) 磯子区内の小・中・高校の利用の場合、部活動も含めて、ギャラリー・ホール・リハーサル室の利用料金については、特別料金を設定します。</p> <p>(3) 幼保の日事業(新規) 磯子区内の幼稚園・保育園等の利用(新規) 磯子区内の幼稚園、保育園等の利用の場合、ギャラリー・ホール・リハーサル室の利用料金については、特別料金を設定します。</p> <p>(4) 会議室利用促進 ・ 磯子事業会、磯子区商店街連合会などに加入の企業や店舗にPRし、各団体と調整し、利用手続きの簡略化をして使いやすくします。</p>
---	--

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

<p>[取組内容]</p> <p>(1) 利用料金を増やすために平日利用を増やします。</p> <p>(2) チケット収入を増やします。</p> <p>(3) 助成金・協賛金・広告収入を増やします。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(1) ホール平日利用の取り組みとして学校等に特別料金を設定</p> <p>(2) チケット販売にコンビニでも買えるオンラインシステムを導入します。</p> <p>(3) 第4期は、新たに事業規模の小さいものに適する助成金を申請していきます。また、イベントカレンダーやチラシに広告枠を用意し、年度の初めに依頼をかけて、広告を出してくれる先の要望に合わせて、該当事業を選択し、広告収入を増やします。</p>
--	--

(3) 経費削減等効率的運営の努力

<p>[取組内容]</p> <p>(1) 業務の効率化</p> <p>(2) 人材の効率的活用</p> <p>(3) 年間の事業収支バランス</p> <p>(4) エコ活動の推進</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(1) 特定の職員に業務が集中しないように、絶えず配分を見直し、全職員で補いあうことで、職場全体のワーク・ライフ・バランスを保ちます。</p> <p>(2) 第4期からは、4者共同事業体の連携を強化し、舞台スタッフもホールの夜公演がない日は、シフトに組み込みます。</p> <p>(3) 年間事業収支のバランスチェックを個々の事業終了後から月ごとに変更し、早めに見直すことで、収支バランスを保ちま</p>
--	--

す。

(4) 産廃ゴミ分別の徹底、古紙リサイクルを今後も推進します。

令和2年度 「磯子区民文化センター(杉田劇場)」 収支予算書兼決算書
(2020. 4. 1~2021. 3. 31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	131,158,000		131,158,000		131,158,000	横浜市より
利用料金収入	20,500,000		20,500,000		20,500,000	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	10,495,000		10,495,000		10,495,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	5,040,000	0	5,040,000	0	5,040,000	
印刷代	40,000		40,000		40,000	
自動販売機手数料	480,000		480,000		480,000	
駐車場利用料金収入	4,300,000		4,300,000		4,300,000	
その他(広告ラック収入・預金利息)	220,000		220,000		220,000	
収入合計	167,193,000	0	167,193,000	0	167,193,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	47,931,000	0	47,931,000	0	47,931,000	
給与・賞金	40,186,000		40,186,000		40,186,000	館長、副館長、管理運営・受付スタッフ、事業スタッフ
社会保険料	4,830,000		4,830,000		4,830,000	
通勤手当	2,264,000		2,264,000		2,264,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	56,000		56,000		56,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	42,000		42,000		42,000	
退職給付引当金繰入額	553,000		553,000		553,000	
事務費	10,167,000	0	10,167,000	0	10,167,000	
旅費	240,000		240,000		240,000	出張旅費
消耗品費	5,000,000		5,000,000		5,000,000	事務消耗品費、駐車券仕入
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	150,000		150,000		150,000	
通信費	600,000		600,000		600,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	2,462,000	0	2,462,000	0	2,462,000	
横浜市への支払分	162,000		162,000		162,000	目的外使用料等
その他	2,300,000		2,300,000		2,300,000	リース経費等
備品購入費	700,000		700,000		700,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	380,000		380,000		380,000	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	75,000		75,000		75,000	
リース料	0		0		0	
手数料	280,000		280,000		280,000	
地域協力費	230,000		230,000		230,000	地域イベントの協力費等
事業費	12,749,000	0	12,749,000	0	12,749,000	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	12,749,000		12,749,000		12,749,000	
自主事業費	0		0		0	
管理費	88,681,000	0	88,681,000	0	88,681,000	
光熱水費	15,705,000	0	15,705,000	0	15,705,000	
電気料金	10,368,000		10,368,000		10,368,000	
ガス料金	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
水道料金	2,337,000		2,337,000		2,337,000	
清掃費	0		0		0	
修繕費	1,800,000		1,800,000		1,800,000	
機械警備費	0		0		0	
設備保全費	37,249,000	0	37,249,000	0	37,249,000	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	37,249,000		37,249,000		37,249,000	設備、清掃、舞台技術、舞台保守点検等
共益費	33,927,000		33,927,000		33,927,000	管理費、修繕積立金等
公租公課	1,465,000	0	1,465,000	0	1,465,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,465,000		1,465,000		1,465,000	
印紙税	0		0		0	
その他()	0		0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	6,200,000	0	6,200,000	0	6,200,000	
本部分	6,200,000		6,200,000		6,200,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	167,193,000	0	167,193,000	0	167,193,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		